

長岡京市立神足小学校

スクールプラン

校訓（目指す子ども像）

- 1 至誠（真面目に頑張る子）
- 2 進取（自ら進んで取り組む子）
- 3 敬愛（思い遣る子）



本校の基本課題

- ◆教職員が互いに尊敬し信頼し協力して組織的に効率的な運営を目指す。
- ◆特別活動を核とした教育活動の活性化を図る。
- ◆話し合い活動の手法や成果を教科学習に活かし、授業改善と学力の充実・向上に努める。
- ◆日常の学校生活を、人権の視点から捉え直し、人権意識の高揚を図る。
- ◆自分の考えでタブレットを活用する児童を育成する。タブレットの文具化を図る。
- ◆児童・保護者・地域・学童保育との信頼関係の構築を図る。
- ◆学校教育の使命を果たしながら、働き方への意識改革を図る。
- ◆開田保育所との効果的な連携を進め、教育活動の充実を図る。
- ◆感染症対策をしっかりと行い、児童が安心して学校生活を送ることができる。

地域・保護者のニーズ

- 1 学力の定着・向上
- 2 安心・安全な学習環境・施設整備
- 3 特別支援教育を主とする個に応じたきめの細かい指導
- 4 校区の環境変化に対応した登下校等の安全

具体的な児童の姿

- 1 高学年があいさつや清掃活動等に頑張る姿を全校のモデルとし、真面目に取り組むことが「かっこいい」という価値観や規範意識の高揚が見られる。
- 2 様々な機会を通して達成感や成就感を獲得させることで、授業や学校生活において学習意欲や生活意欲が高まり、児童の積極的な挑戦が見られる。
- 3 道徳や人権教育、特別活動の充実を図り、日常生活を人権の視点から捉え直すことで、人権意識や道徳性が高まり、自分や友だちを大切にする言動が随所に見られ、学級や学校の仲間と共に高めを目指そうとする姿がみられる。

心をつなぎ、笑顔かがやけ チーム神足小

重点指導事項

- 1-① あいさつの励行
 - あいさつは相手を思い遣り、気持ちを伝える第1歩であること
 - 自ら「ありがとう」「ごめんなさい」と言えること
 - 教職員が、あいさつをする後ろ姿を見せること
- ②他学年に、頼られ、憧れられる高学年の育成（高学年の姿を全校モデルに）
- ③清掃活動の充実（学級で一生懸命・先生方の率先垂範）
- ④係活動や当番活動の工夫と充実（困難な仕事も自ら進んで取り組む子）
- 2-①重点研究内容である、話し合い活動の継承と活用
 - ②タブレットの活用を図る
教師の指導のための教具の一つではなく、児童の文具として、その活用を図る
学習したこと（獲得した知識や思考判断した内容）を、構成を考え整えて保存する（クラウドの活用）
 - ③デジタルドリルの活用を図る
子どもたちが、自己調整しながら自ら進めていく（自走する）ための助走に取り組む
 - ④児童にとって達成感や成就感のある魅力ある授業の創造
 - ⑤特別支援教育の視点からの個に応じた指導と支援
 - ⑥共に学び、共に成長する教職員集団
（積極的なおせっかい：迷惑がられても尋ねる：率直な意見交換など）
- 3-①良い聞き手を育てる（話をしっかりと聴くことと、相手を認めながら心で聞く）
 - ②教育活動を人権の視点から見つめ直す（配布物・掲示物・敬称等）
 - ③不登校やいじめの未然防止と早期発見、早期対応に努める（チームで対応）
 - ④学校として一致した対応と積極的な保護者連携に努める
（迅速で一致した危機対応、連絡帳より電話、電話より家庭訪問、ハッピー電話）
 - ⑤HP・学校だより・学年便り・学級通信等により、広報に努める。※掲示板の活用

市教委（国府）等の方針

◎学力の充実・向上と個性や能力の伸長

※協働的な学び

- ・子供一人一人のよい点や可能性を生かし、子ども同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する
- ・異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す

※個別最適な学び

- ・子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法、教材等の工夫を行う

◎豊かな人間性の育成と健康や体力の向上

- ・命を大切に行動する児童の育成
- ・道徳教育の推進
- ・あらゆる教育活動を通して人権教育の推進
- ・不登校やいじめの未然防止、薬物乱用・非行防止

◎府民・市民の信頼を高める学校づくり

- ・開かれた教育課程に基づく、開かれた学校づくりの推進
- ・教師力の向上・働き方の改革